

## 令和元年度 第1回熊本県幹線道路協議会 議事要旨(書面開催)

今般、令和元年度第1回熊本県幹線道路協議会を書面により開催し、幹線道路等に関する情報を共有するとともに、委員意見を踏まえ以下のとおり議事概要を取りまとめましたので、お知らせします。

### 【議事:報告事項】

1. 熊本都市道路ネットワーク検討会の成果 …………… 資料1
2. 県内幹線道路等整備の進捗状況 …………… 資料2  
(参考)令和2年度新規事業候補箇所

### 【結果:議事概要】

#### 1. 熊本都市道路ネットワーク検討会の成果について

◇ 「熊本都市道路ネットワーク検討会」の成果報告を踏まえ、今後、国・県・市が連携し道路のネットワークについて調整を図るとともに、県全体の道路ネットワークにおける課題や効果等に係る検討を進め、次回以降の熊本県幹線道路協議会において議論する。

#### 2. 県内幹線道路等整備の進捗状況について

◇ 九州の広域道路ネットワークを形成し、企業の生産性向上や防災力の強化等に資する「中九州横断道路(大津熊本道路)合志～熊本」及び「九州中央自動車道(蘇陽五ヶ瀬道路)」を含め、県内の幹線道路において切れ目なく事業を展開し、九州の一体的な発展につなげていくことが必要である。

◇ 熊本市において整備が進められている「熊本西環状道路」と、国において新規事業化に向けた手続きが進められている「中九州横断道路 大津熊本道路(合志～熊本)」は、「熊本環状連絡道路」でつながることで、大分都市圏と熊本都市圏の連携がより一層図られることが期待されるため、「熊本環状連絡道路」の早期整備の必要性は高い。

また、「熊本環状連絡道路」は、「中九州横断道路」と「熊本西環状道路」に接続することで、熊本と大分をつなぐ東西軸として相互に連携し合う一体的な道路ネットワークの一部を形成し、かつ、「熊本環状連絡道路」と「中九州横断道路」が、相互に「九州縦貫自動車道」に接続することで、高規格幹線道路と一体となった広域的な交通を担うことになる。

そのため、「熊本環状連絡道路」は早期整備の観点からも、今後、有料道路事業の活用も含め、「中九州横断道路」と一体的に検討すべき区間として共有した。なお、有料道路事業の活用などに関する検討にあたっては、地元理解が十分に深まるよう努めていく。